

USPM-RU/RUⅢインストール手順書

(Ver3. 21)

---

---

**OLYMPUS®**

## 注意

### ご利用前に

この度は、USPM-RU/RUⅢをお買い求めいただきありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させるため、また安全にご使用いただくために、USPM-RU/RUⅢの再インストール時には必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後はいつでも使用できるように、お手元に大切に保管してください。

特に、すでにプログラムがインストールされた PC のバージョンアップや、再インストールには「7. 設定ファイルのバックアップ」と「8. 通信ドライバのアンインストール」と「9. GPIB USB 接続ドライバのアンインストール」と「10. USPM-RU/RUⅢのアンインストール」を最初に行う必要があります。

このアンインストール操作で、誤ったファイルを削除すると PC が正常に動作しない場合が生じます。

インストール操作の取扱にあたっては、パソコン操作と干渉計操作の十分な知識と経験を持った方が、必ずこの手順書を熟読された後に、作業を行ってください。

## 目次

1. はじめに.....	4
2. インストール手順について.....	9
3. USPM-RU/RUⅢプログラムのインストール.....	10
4. 通信ドライバのインストール.....	12
5. GPIB USB 接続ドライバのインストール.....	15
6. 波長校正データ設定.....	17
7. 設定ファイルのバックアップ.....	18
8. 通信ドライバのアンインストール.....	19
9. GPIB USB 接続ドライバのアンインストール.....	21
10. USPM-RU/RUⅢプログラムのアンインストール.....	23

# 1. はじめに

## (1) 用意するもの

プログラムをインストールする前に以下のものをご用意ください。

【USB ケーブルタイプの機種の場合 (USPM-RUⅢ)】

- ① プログラムをインストールするためのコンピュータ
- ② プログラムインストール用 CD-ROM
- ③ コントロールボックス (UCB-01) と USB ケーブル

【GPIOB USB 接続タイプの機種の場合 (USPM-RU)】

- ① プログラムをインストールするためのコンピュータ
- ② プログラムインストール用 CD-ROM
- ③ GPIOB USB 接続ケーブル

## (2) コンピュータ (PC) の仕様

プログラムを動作させるシステム構成は以下の通りです。

[Windows 10]

- ① CPU : Intel 社製
- ② チップセット : Intel 社製 (※1)
- ③ メモリ : 4GB 以上必須
- ④ OS は Windows 10 Professional 64bit
- ⑤ CD-ROM ドライブ (外付けでも可)
- ⑥ USB2.0×1 ポート (2 ポート以上推奨)
- ⑦ 解像度 1024×768 以上
- ⑧ 電源管理はハードディスクの電源を切らない設定とする。

[Windows 7]

- ① CPU : Intel 社製
- ② チップセット : Intel 社製 (※1)
- ③ メモリ : 1GB 以上必須 (2GB 以上推奨)
- ④ OS は Windows 7 Professional または Windows 7 Business 32bit
- ⑤ CD-ROM ドライブ (外付けでも可)
- ⑥ USB2.0×1 ポート (2 ポート以上推奨)
- ⑦ 解像度 1024×768 以上
- ⑧ 電源管理はハードディスクの電源を切らない設定とする。

※1 その他のチップセットでは正常に動作しない場合があります

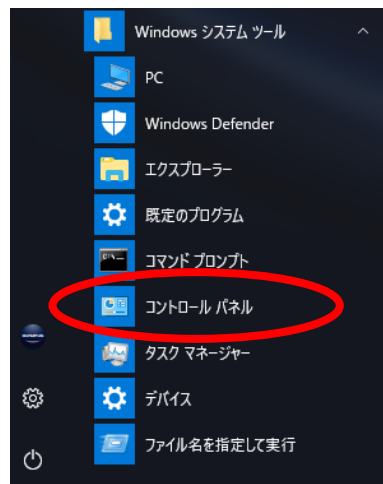
(3) OSにログインするIDについて

プログラムやデバイスドライバをインストールする場合には、必ず管理者権限のあるログインID (Administrator 等) でログインした状態で行ってください。

(4) PCにインストールする場合

ユーザーアカウント制御の設定を無効にしてからインストールする必要があります。  
ユーザーアカウント制御を無効にする手順は以下のとおりです。

① 「スタートメニュー」から「コントロールパネル」を選択します。



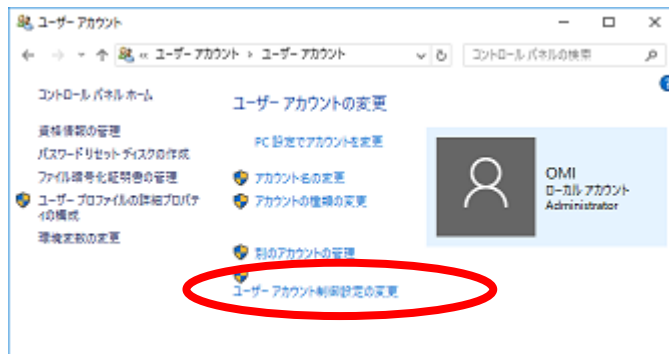
② 最初の画面で「ユーザーアカウント」をクリックします。



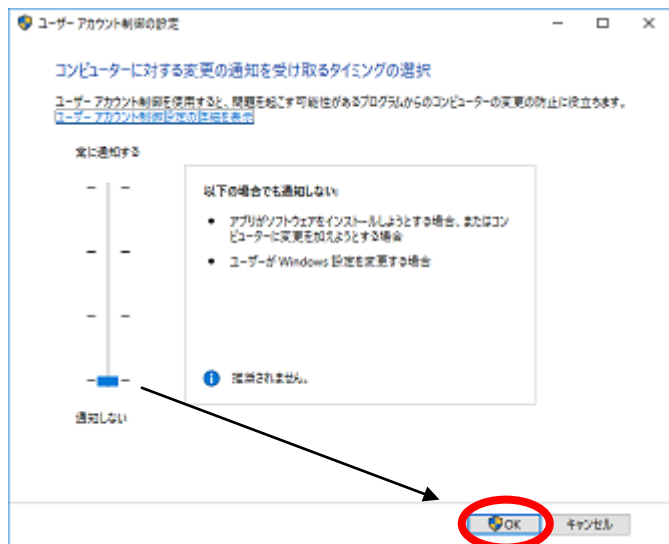
③ 次の画面で「ユーザーアカウント」をクリックします。



④ 次の画面で「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックします。

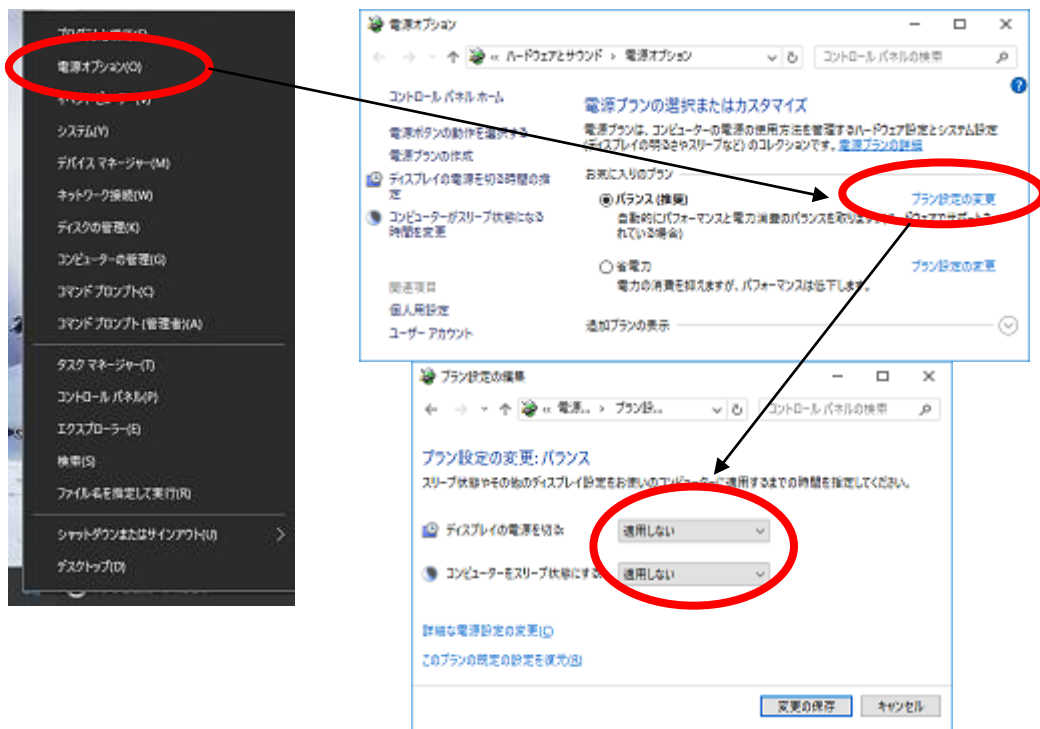


⑤ 次の画面で「コンピュータに対する変更の通知を受け取るタイミングの選択」で、「以下の場合でも通知しない」に設定します。



⑥ コンピュータの再起動を求めるウィンドウが表示されますので、コンピュータを再起動します。再起動を求めるウィンドウが表示されない場合は、コンピュータを再起動して下さい。

- ⑦ 電源管理の設定をします。スタートメニューから、「電源オプション」を選択し、下画面の矢印に従い電源設定画面を表示します。2項目全てを「なし」または「適用しない」に設定します。





## 2. インストール手順について

インストール、アンインストールする場合、以下の順序で行ってください。

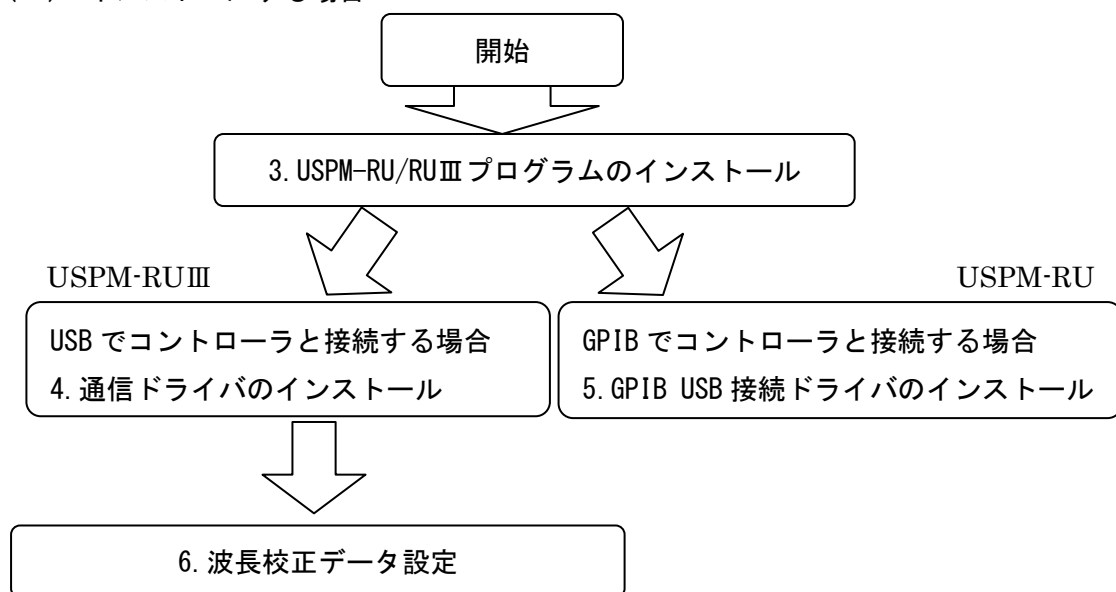
※既にインストール済みとなっているパソコンへ、再度インストールする場合は、先にアンインストールの作業をおこなってから、インストールをしてください。

※新規インストール時や、過去インストール状態へ戻す必要がない場合、3. (5) バックアップした設定ファイルの復元の項目は不要です。

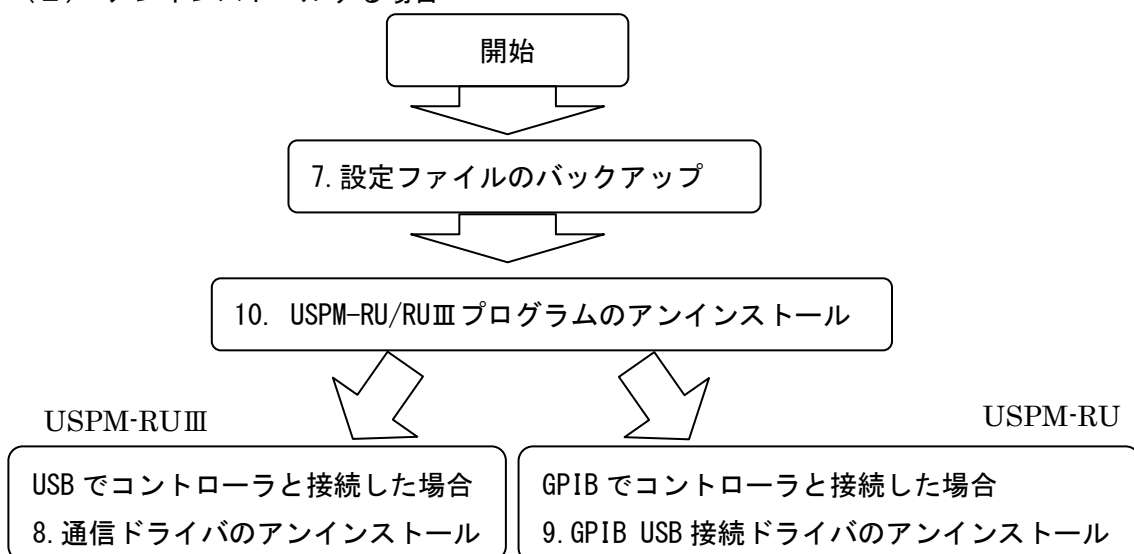
※この操作は、他のプログラム等が起動していないことが前提になります。

※作業手順を間違えた場合や、パソコンの環境により手順が異なる場合があります。

### (1) インストールする場合

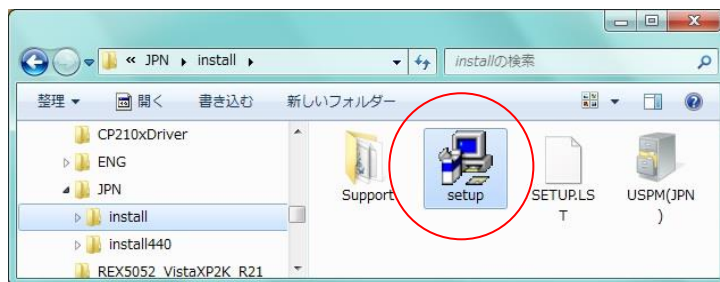


### (2) アンインストールする場合

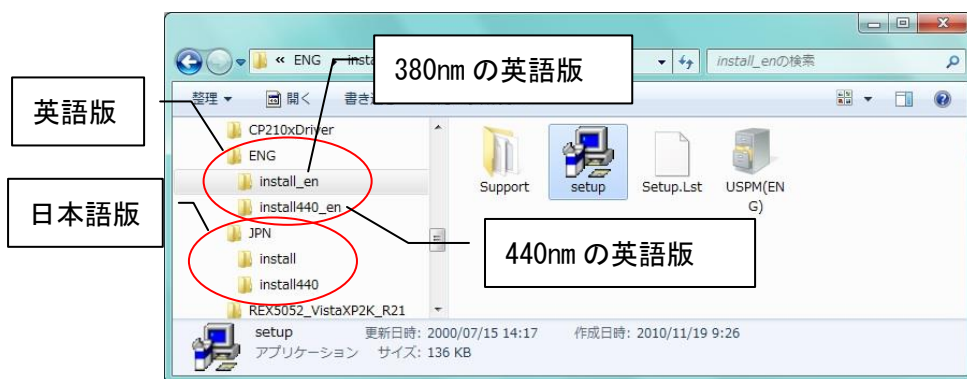


### 3. USPM-RU/RUⅢプログラムのインストール

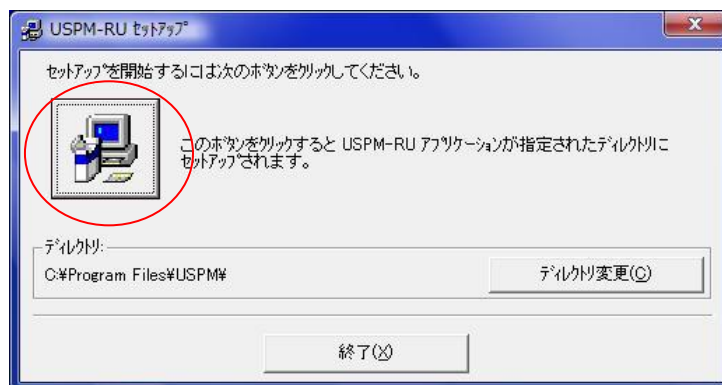
- (1) エクスプローラを開き、CD-ROM の「JPN」フォルダを開きます。その下層フォルダの「install」(380nm 用) または「install440」(440nm 用) フォルダを開き、「Setup(.exe)」をダブルクリックして実行します。



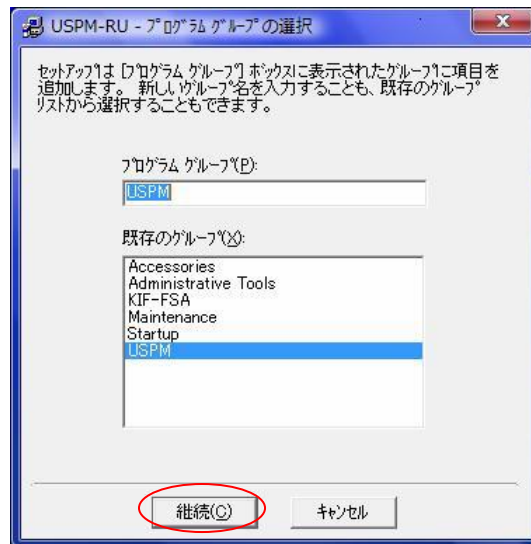
※「JPN」と「ENG」はそれぞれ日本語と英語のプログラムが格納されたフォルダです。また、「install」と「install440」は 380nm 用と 440nm 用の測定ヘッドに対応したプログラムが格納されたフォルダです。



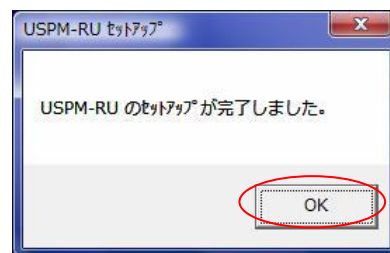
- (2) セットアップ開始のメッセージが表示される場合は、「OK」を押します。次に、セットアップ画面が表示されますので、アイコンの部分をクリックします。



- (3) 次の画面が表示されますので、「継続」をクリックします。インストール中にバージョンの競合を示すメッセージが表示される場合は「いいえ」を押します。



- (4) セットアップ完了の画面が表示されます。「OK」をクリックします。



- (5) 初期インストールの場合はこれで終了です。再インストールの場合で、以前の使用環境に戻したいときには、「7.設定ファイルのバックアップ」で保存したファイルを、元の場所（インストール先）に上書きコピー（移動して置換）してください。
- (6) デスクトップにショートカットを作成します。USPM-RU/RUⅢのプログラムをインストールしたフォルダ（デフォルトはC:\¥USPM もしくは¥USPM440）にある「USPM. exe」で右クリックを押します。「送る」－「デスクトップ（ショートカットを作成）」を押します。デスクトップにショートカットが作成されます。

## 4. 通信ドライバのインストール

※このドライバのインストールは、USB で本体のコントローラと接続する場合に、インストールを行うものです。また、インストールするパソコンの設定や、再インストールした場合は、インストール手順が異なることがあります。

- (1) CD-ROM の「CP210xDriver」フォルダの「CP210xVCPInstaller\_x64(.exe)」  
( [Windows7] 「\_WIN7¥CP210xDriver」フォルダの「CP210xVCPInstaller\_x86(.exe)」 )  
をダブルクリックして実行します。

- (2) 「次へ」 ボタンをクリックして次に進みます。



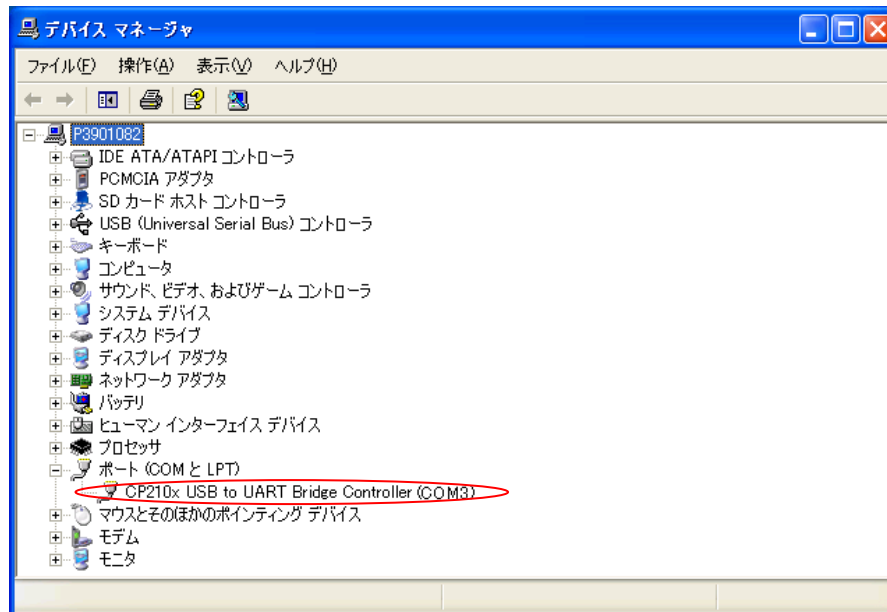
(3) 次の画面は「同意します」にチェックして次へボタンで次へ進みます。



(4) 最後に完了ボタンでインストールは終了です。



- (5) 次にポート番号の設定をします。「スタートメニュー」「コントロールパネル」「ハードウェアとサウンド」の順に指定して「デバイスマネージャ」を選択します。
- (6) 「ポート (COM と LPT)」の+マークを押して、接続されているシリアルポートを表示させます。Silicon Labs CP210x USB to UART Bridge (COM 3)と表示された場合 COM 3 がポート番号を表しています。

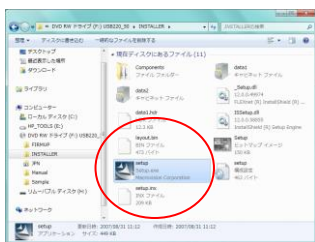


- (7) USPM-RU/RUⅢのプログラムをインストールしたフォルダ（デフォルトは C:\¥USPM¥もしくは¥USPM440）にある「USPM. int」ファイルをダブルクリックして開きます。うまく開けない場合は、「USPM. int」ファイルを右クリックして「プログラムから開く」を選択し、メモ帳を選択して開いてください。  
※拡張子が非表示の場合は、「. int」は表示されません。
- (8) 上記「USPM. int」ファイルの上から 3 行目の数字を確認します。この数字がシリアルポートのポート番号でデフォルトは 5 になっています。デバイスマネージャで確認したシリアルポート番号をここに設定します。上の例の場合は COM 3 と表示されていたので 3 を設定します。設定したらファイルを上書きして閉じます。読み取り専用となっており、上書きできなかった場合は、プロパティから、読み取り専用のチェックを外します。

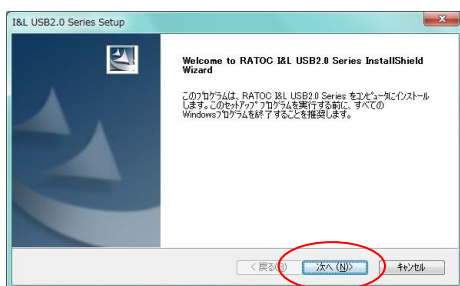
## 5. GPIB USB 接続ドライバのインストール

GPIB USB 接続ケーブルをお使いの場合は、次の設定を行ってください。GPIB USB 接続ケーブルをパソコンに接続しない状態で、インストール作業を開始します。

- (1) CD-ROM の「REXUSB220」フォルダの「USB220\_Setup\_for\_Win10.exe」 ([Windows7]「\_WIN7¥REXUSB220」フォルダの「Setup.exe」) をダブルクリックして実行します。  
※拡張子 (.EXE) は OS の設定により表示されません。



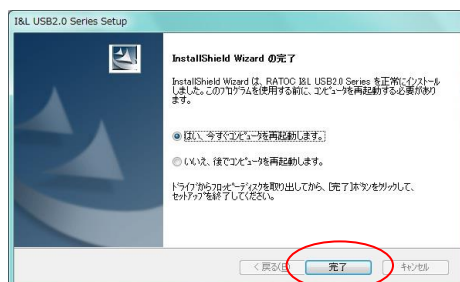
- (2) 「次へ」ボタンをクリックして次に進みます。



- (3) 「次へ」ボタンをクリックしますと、インストールが開始されます。



- (4) 「完了」ボタンを押して、インストールは終了します。パソコンが再起動しますので、しばらくお待ち下さい。



- (5) パソコンの再起動完了を確認し、GPIB USB 接続ケーブルを USB コネクタに挿入しま

す。

- (6) 次に、ファイル内容を変更して初期設定をします。USPM-RU/RUⅢのソフトをインストールしたフォルダ（デフォルトはC:¥USPM¥もしくは¥USPM440）にある「USPM. int」ファイルをダブルクリックして開きます。うまく開けない場合は、「USPM. int」ファイルを右クリックして「プログラムから開く」を選択し、メモ帳を選択して開いてください。
- (7) 上記「USPM. int」ファイルの上から3行目の数字を確認します。この数字がシリアルポートのポート番号でデフォルトは5になっています。0と入力して設定します。設定したらファイルを上書きして閉じます。



## 6. 波長校正データ設定

USB ケーブルタイプの機種をお使いの場合は、次の設定を行ってください。

- (1) USPM-RU/RUⅢのプログラムをインストールしたフォルダ（デフォルトは C:\¥USPM¥もしくは¥USPM440）にある「USPM.int」ファイルをダブルクリックして開きます。うまく開けない場合は、「USPM.int」ファイルを右クリックして「プログラムから開く」を選択し、メモ帳を選択して開いてください。
- (2) 測定ヘッドに記載されている数値を以下のように記入し、ファイルを上書き保存します。

測定ヘッドの数値例

1 : 3 8	2 : 7 7
3 : 2 1 4	4 : 4 0 1
5 : 4 5 4	6 : 4 8 5

USPM.int ファイルの内容例

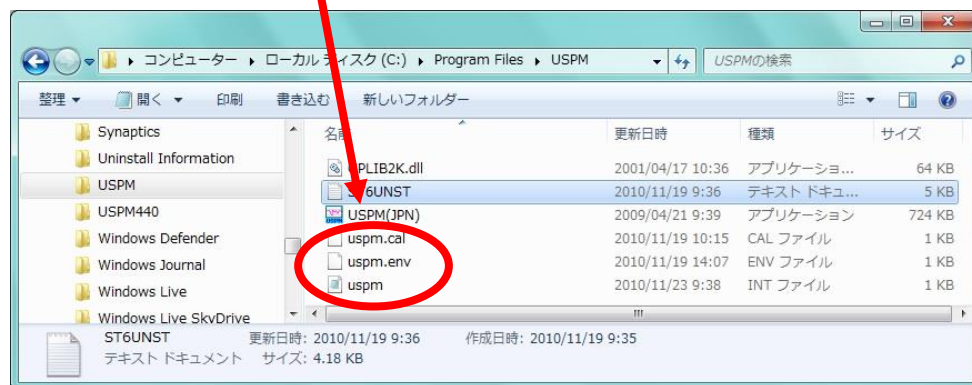
1 行目 : (データファイル識別タグ)  
2 行目 : (環境ファイル名)  
3 行目 : (使用ポート番号)  
4 行目 : 38 ← 左記 1 の数値を設定する  
5 行目 : 77 ← 左記 2 の数値を設定する  
6 行目 : 214 ← 左記 3 の数値を設定する  
7 行目 : 401 ← 左記 4 の数値を設定する  
8 行目 : 454 ← 左記 5 の数値を設定する  
9 行目 : 485 ← 左記 6 の数値を設定する (※ 1)  
最終行 : (シャッタ待ち時間)

※1 : 440-840nm 仕様では 9 行目はありません。

## 7. 設定ファイルのバックアップ

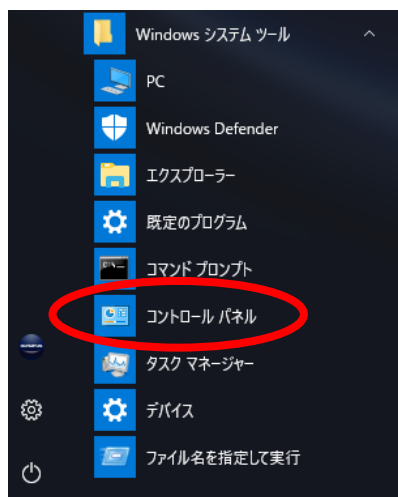
アンインストール作業により、一覧に記載の設定ファイルは削除されます。アンインストール後も引き続き現在の設定を使用する場合は、以下の必要なファイルを別の場所にコピーして、インストール後に元の場所に戻してください。

ファイル名	備考
C:\¥USPM¥uspm. cal	もしくは¥USPM440 フォルダ
C:\¥USPM¥uspm. env	もしくは¥USPM440 フォルダ
C:\¥USPM¥uspm. int	もしくは¥USPM440 フォルダ 拡張子(. int)が表示されていません



## 8. 通信ドライバのアンインストール

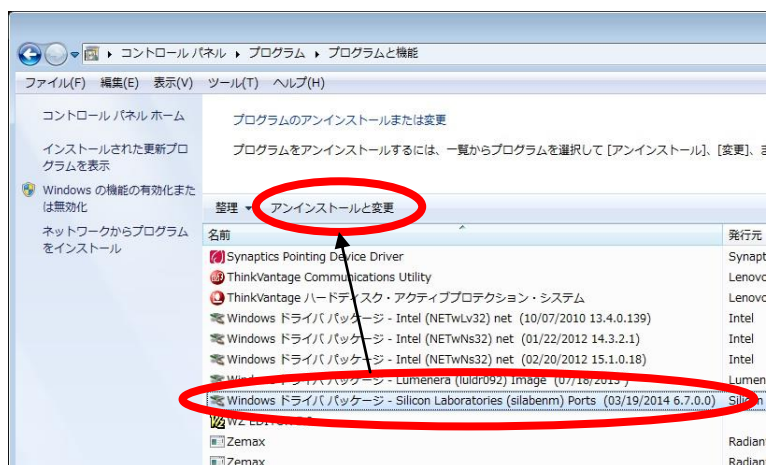
- (1) 「スタートメニュー」から「コントロールパネル」を選択します。



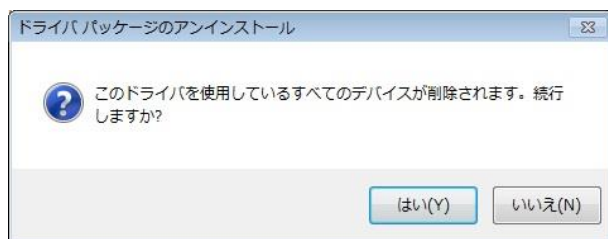
- (2) 「プログラムの追加と削除」または、「プログラムと機能」をクリックします。



- (3) 「Windows ドライバパッケージ - Silicon Laboratories (silabser) Ports」を選択して、アンインストールと変更ボタンでアンインストールを開始します。

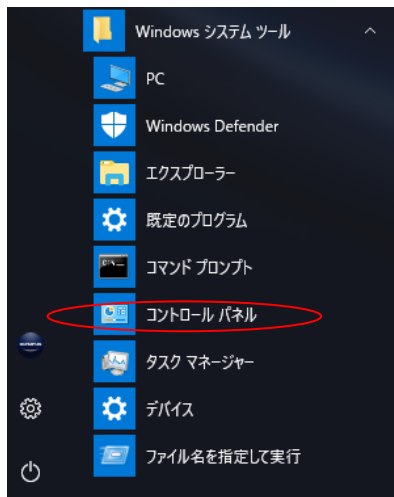


- (4) 次の画面で、「はい」ボタンでアンインストールは完了です。



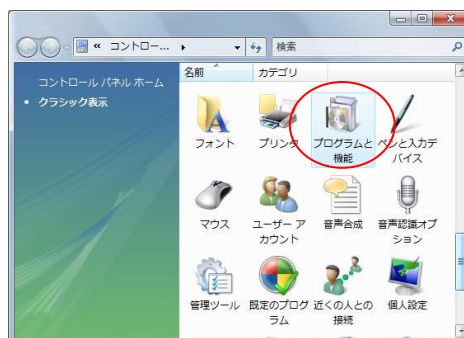
## 9. GPIB USB 接続ドライバのアンインストール

(1) Windows のスタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。

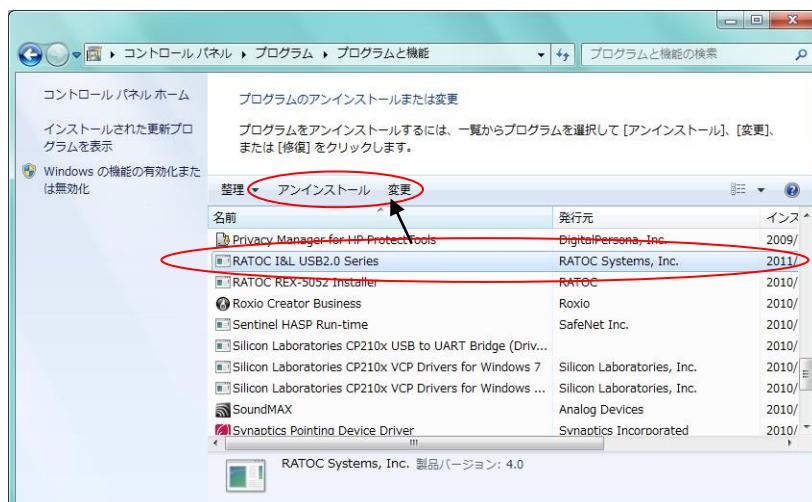


(2) 「プログラム」をクリックします。(クラシック表示の場合は (3) へ)

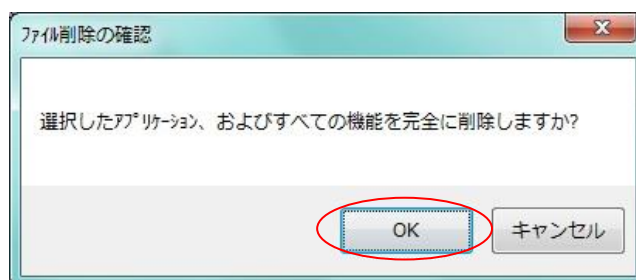
(3) 「プログラムと機能」をクリックします。



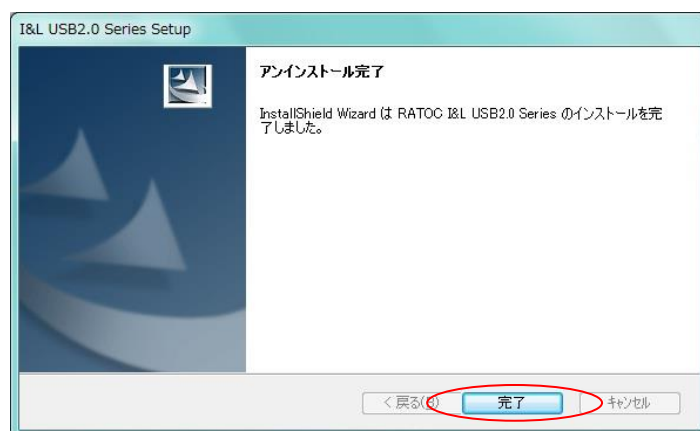
- (4) 「RATOC I&L USB2.0 Series」を選択し、「削除」または「アンインストール」をクリックします。



- (5) アンインストール完了の画面が表示される場合は、「Finish」または「OK」をおします。



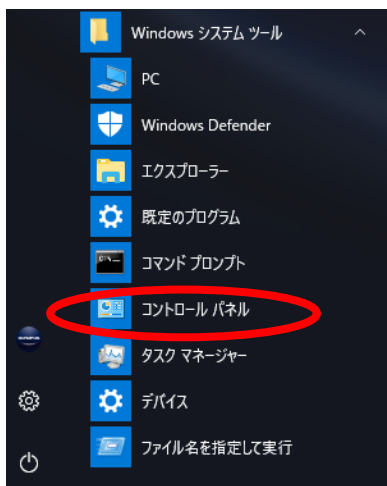
- (6) アンインストールの完了を待ちます。
- (7) ダイアログが消えますとアンインストール作業は終了です。アンインストール完了のメッセージが表示される場合は、「完了」をおします。



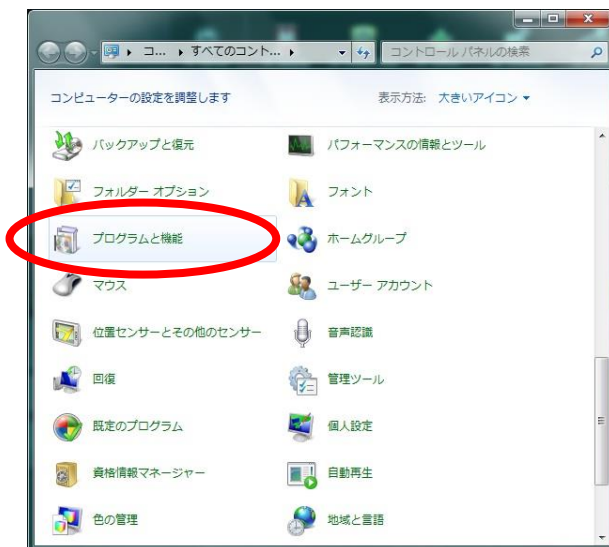
## 10. USPM-RU/RUⅢプログラムのアンインストール

USPM-RU/RUⅢのプログラムがすでにインストールされている PC に再インストールする場合は、以下の手順に従ってプログラムのアンインストールを行ってください。

- (1) Windows のスタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。

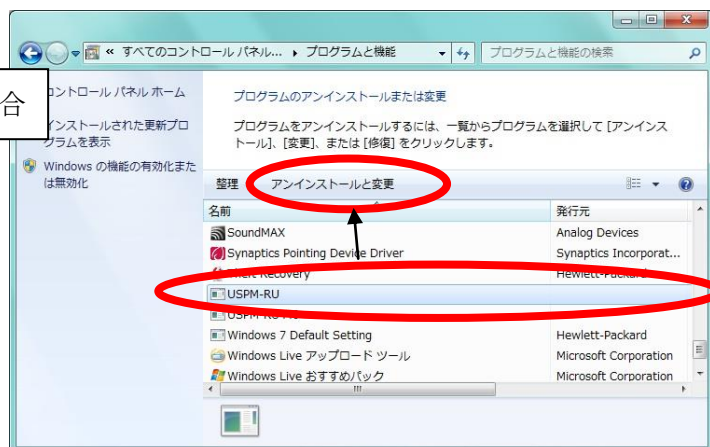


- (2) 「プログラムの追加と削除」または、「プログラムと機能」をクリックします。

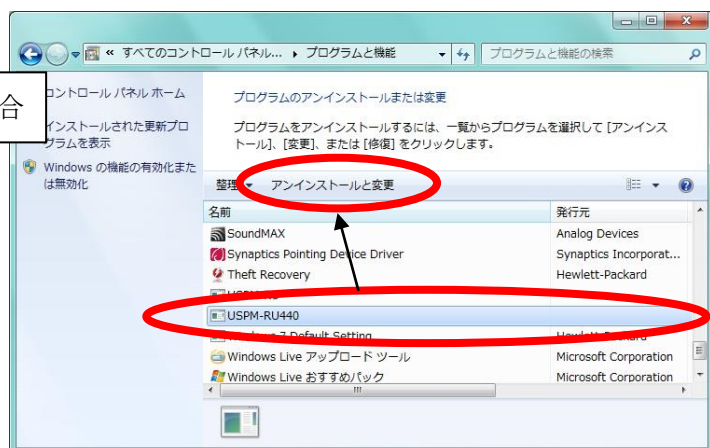


- (3) 「USPM-RU」を選択し、「アンインストールと変更」または「削除」または「アンインストール」をクリックします。

380nm 用の場合



440nm 用の場合



- (4) 「プログラムの追加と削除」の確認ダイアログが表示される場合は、はい(Y)をクリックします。
- (5) 共有ファイルの削除を確認するダイアログが表示される場合は、「すべてを削除」をクリックします。
- (6) 「7. 設定ファイルのバックアップ」で、ファイルを移動させている場合は、ファイルが存在しないメッセージが表示されます。了承して画面を閉じますとアンインストールが続行されます。
- (7) アンインストールの完了を待ちます。アンインストール中に「U2GPLIB.DLL」が見つからない旨のメッセージが表示される場合は、「OK」を押しメッセージを解除します。
- (8) アンインストール中を示すメッセージ表示が消えますと、アンインストール作業は終了です。完了確認の画面が表示される場合は、画面を閉じます。「プログラムと機能」画面、コントロールパネルの画面を閉じます。